



## ニッサン F50 シーマ

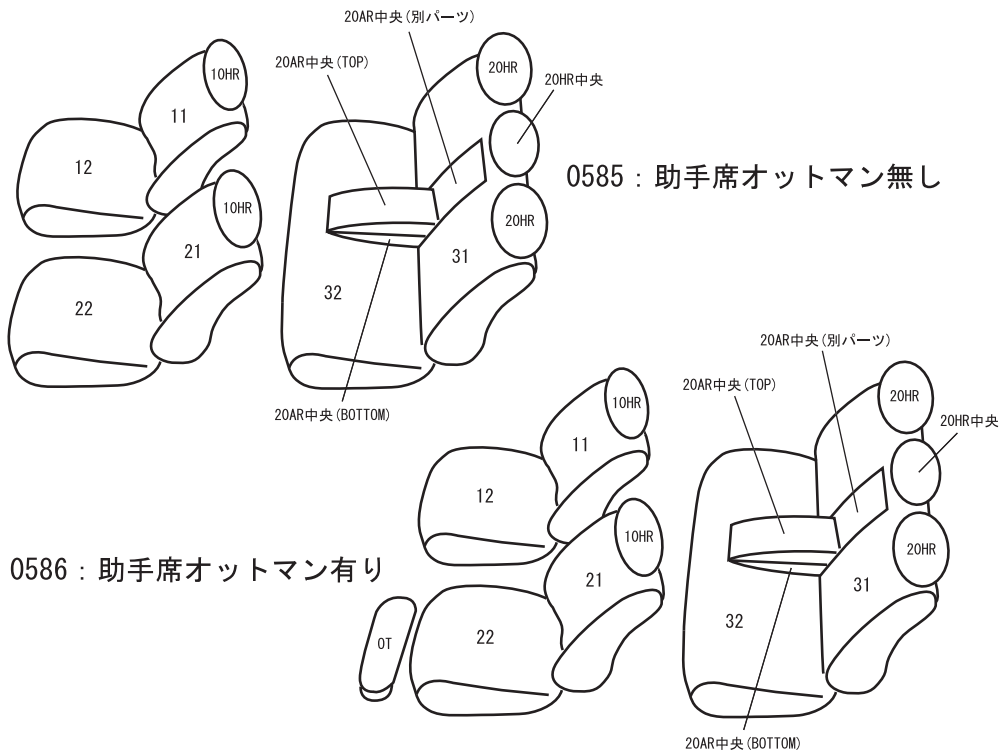
### 専用シートカバー取付説明書

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

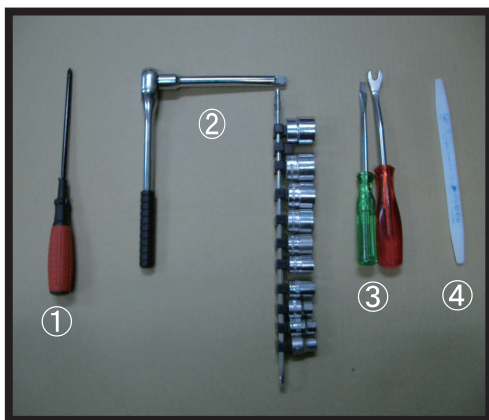
- \* 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する注意事項等が記載されていますので、装着前に必ずお読み下さい。
- \* 本書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため製品とデザインは異なります。

0585/0586

# 本製品シート形状とパーツの名称



## 取付必要工具



### 工具名

- ① +ドライバー
- ② ソケットレンチセット
- ③ ドライバーまたは内張り外し
- ④ ヘラ

\*この車種では、①と②と④の工具を使用します。

\*この車種では、③の工具は使用しません。

## シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。  
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。  
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。  
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

## 本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地の表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがかつく残る場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

## シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

**TEL 072-330-8000**

## ⚠ 警告 サイドエアバッグについて

■SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようご注意ください。

## ⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。

ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。  
※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。



2 シートを上から見た状態です。通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。





- 5 4番の図を拡大したものです。シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目になる縫い目を指で押して、シートのくぼみにカバーの縫い目がしっかりと合っているかを確認します。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ばった形状（2番参照）の角に位置することを確認します。この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれていることとなります。位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。

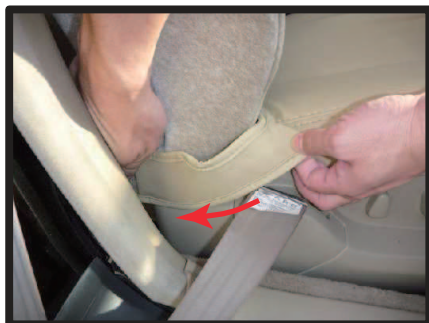


- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、サイドエアバッグがシートカバーから正常に展開します。

# 1 列目座面



①カバーをシートのラインに合わせてます。



④カバー両側面の生地は、図のように後ろ側へ回します。



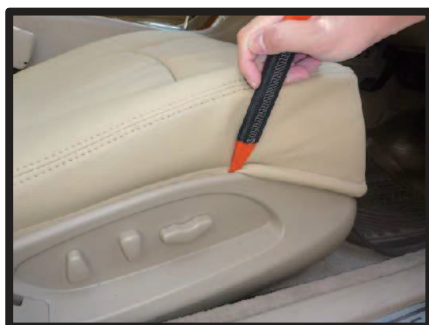
②シートのラインからずれないようにカバーをかぶせていきます。



⑤入れ込んだ生地を後ろ側から引き出します。



③背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑥シート本体とプラスチックカバーの間に生地を入れ込みます。

※ヘラ等を使用すると作業がしやすくなります。



⑦シート前面のプラスチックカバーの間にも同様に生地を入れ込みます。



⑩後ろ側は、このようになります。



⑧④で後ろ側へ回した生地と、⑤で引き出した生地をマジックテープで固定します。



⑪カバーのラインを整え、運転席座面の完成です。助手席側も同様に取り付けます。



⑨プラスチックカバーの間に生地を入れ込みます。

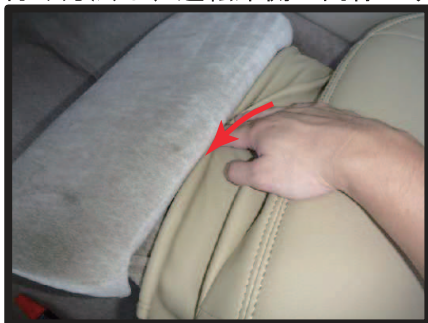


# 1 列目助手席座面(オットマン付き)

※オットマン格納部以外の座面の取り付け方法は、運転席側と同様です。



- ①運転席側と同様に、カバーをかぶせます。  
オットマン格納部の矢印位置に生地を入れ込みます。



- ④オットマンの隙間に生地を入れ込みます。



- ②①の矢印位置の拡大図です。  
オットマンとシートをつなぐ金属部分に生地が付いているマジックテープベルトを巻き付けます。



- ⑤生地を入れ込むと、このようになります。  
※オットマン格納部以外のカバーの取り付けは、運転席側と同様にします。



- ③図のように、マジックテープベルトを巻き付け固定します。  
座面内側面も同様に取り付けます。



- ⑥オットマンにカバーをかぶせます。  
オットマンの先端からラインを整えながらかぶせていきます。



⑦カバーをかぶせると、④で生地を入れ込んだ位置にヒモが付いていますので、引き絞り固定します。



⑩オットマンを格納し、カバーのラインを整え、1列目助手席座面の完成です。



⑧固定後に余ったヒモは、オットマンの隙間に入れ込みます。



※オットマン使用時の注意

カバーの性質上、オットマン使用時には、図の赤丸で囲った部分の生地がオットマン作動に連動し、引っ張られます。(下に続く)



⑨カバーのラインを整え、オットマンの完成です。



その為、オットマン格納時に引っ張られた生地が格納しきれない事がありますので、オットマン格納後に図のように、生地を入れ込むようにして下さい。

# 1 列目背もたれ

## ⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグ装着車の装着方法は、表紙から4枚目と5枚目の『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し、正確にシートカバーを取り付けてください。



①ヘッドレストを外し、背もたれカバーを半分ほど裏返してシートにかぶせます。



④背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



②ヘッドレストの台座とカバーの穴位置を合わせ、肩口までしっかりかぶせます。  
折り返していたカバーを左右均等に下まで引き下げます。



⑤矢印の①～③の順にカバーをシートに馴染ませ、形を整えます。



③ヘッドレストの台座部分を穴から取り出します。生地の伸びを利用して横からもぐり込ますように取り出して下さい。無理に入ると破れる恐れがありますのでご注意下さい。



⑥④で入れ込んだ生地を背もたれ後ろ側から引き出します。

## 2列目座面



⑦引き出した生地と背もたれ背面の生地をマジックテープで固定します。

### ⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、こちらの固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があります、危険です。



①矢印の位置（座面の前側シート裏）に、車体とシートを固定しているフックがあります。



⑧サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認して下さい。カバーのラインを整え、運転席背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。



②フックは、図のように固定金具の輪を手前に引く事でロックが外れるので、ロックを外しながらシートを持ち上げ、フックを外します。



⑨助手席内側にあるパワーシート用スイッチは、カバーの加工穴からヘラ等を使用して取り出します。

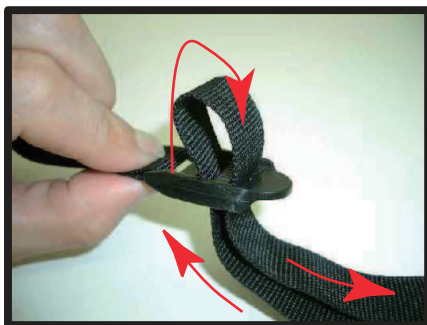


③フックを外し、座面の前側を引き上げ、シートを取り外します。シートを外す際に車体を傷付けないよう、慎重に作業を行って下さい。

## 2列目座面続き



④シートラインからずれないようにカバーをかぶせます。



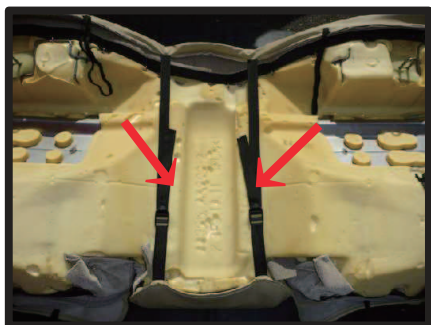
⑦ベルトの固定は、図のように真中の穴に通してから、右端の穴に通し、ベルトを引いて固定します。強く引き過ぎるとベルトが切れる場合がありますので、ご注意ください。



⑤カバー下部の加工穴に、図のように金具を通します。



⑧カバーの前後に付いているゴムの一方に、付属のS字フックを取り付けます。



⑥シートを裏返し、カバーの前後に付いているベルトを固定します。



⑨前後のゴム同士を、S字フックを使用し固定します。

## 2列目背もたれ



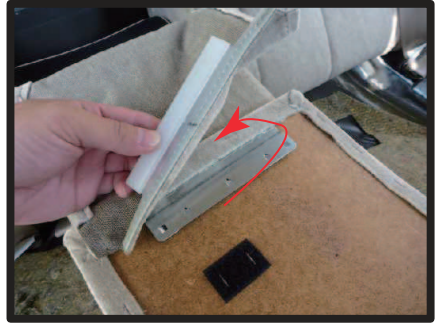
⑩カバー側面に付いているヒモの一方  
で、図のような輪を作ります。



①はじめに、アームレスト裏側のパネル  
を取り外します。  
アームレストを引き出し、背もたれの  
奥にあるパネルを下側から手前に  
引き出します。



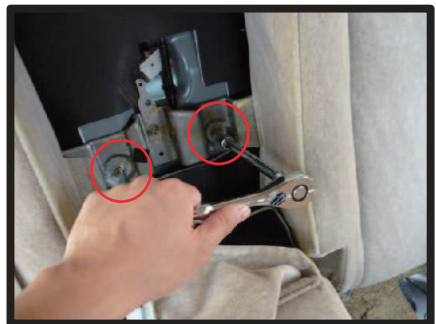
⑪⑩で作った輪に、もう一方のヒモを  
通し引き絞ります。  
図のように、カバーがシートに馴染  
むように調整し、ヒモを結び留めま  
す。



②アームレストとパネルはフック状の  
パーツで固定されています。  
パーツを外してパネルを取り外しま  
す。



⑫カバーのラインを整え、2列目座面  
の完成です。  
座面を車体に戻すのは、背もたれを  
完成させた後に行います。



③パネルを外したところに、ナットが  
ありますので、ラチェット等を使用  
し取り外します

## 2列目背もたれ続き



- ④背もたれ下側にボルトがあります。  
ラチェット等を使用し取り外します。  
(左右2ヶ所)



- ⑦シートベルトのガイド(図のプラスチックパーツ)を+ドライバーを使用し外します。(計3ヶ所)



- ⑤背もたれを外します。  
上にずらすようにして、持ち上げます。  
車体に傷を付けないよう、慎重に作業を行って下さい。



- ⑧背もたれを裏返し、アームレストの付け根にあるボルトを、ラチェット等を使用し外します。



- ⑥背もたれは、図の赤丸位置にツメで固定されています。



- ⑨アームレストを背もたれ前側から引き抜くようにして取り外します。



⑩アームレストを取り外すと、このようになります。



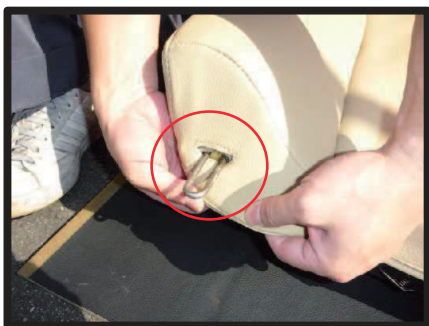
⑬1列目と同様に、ヘッドレストの台座を取り出します。



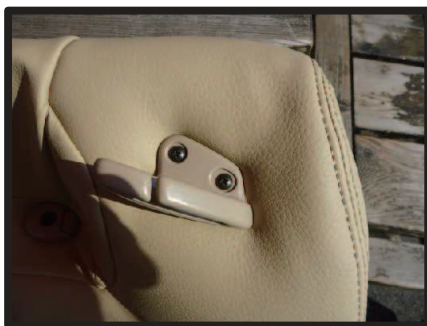
⑪カバーをラインに合わせてかぶせます。



⑭背もたれを裏返して、カバーの上下左右に付いているベルトで固定します。



⑫背もたれ下部の金具を、カバーの加工穴から取り出します。



⑮⑦で外したシートベルトのガイドを元に戻します。(計3ヶ所)



## 2列目アームレスト



①アームレスト固定用金具に付いているプラスチックパーツを、図の矢印の方向にずらす事で取り外します。



④上蓋とアームレスト本体を外すと、このようになります。



②アームレスト固定用金具を、ラチェット等を使用し外します。



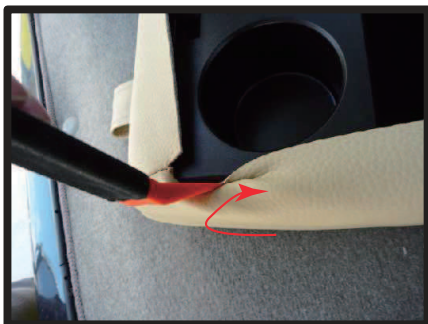
⑤アームレストにカバーをかぶせます。先端部分からラインに合わせて、かぶせていきます。



③アームレストの上蓋を取り外します。図の赤丸で囲んだ4ヶ所のネジを、+ドライバーで外します。



⑥アームレストの後ろ側に、図のようにカバーを引っ掛け固定します。



⑦ヘラ等を使用し、アームレストのプラスチック部の隙間に、生地を入れ込みます。



⑩上蓋にカバーをかぶせ、内側に生地を巻き込みます。  
※両面テープを使用すると、作業がしやすくなります。



⑧アームレスト本体にカバーをかぶせると、このようになります。



⑪巻き込んだ生地で、ネジ穴がふさがった所は、図のようにネジ穴部の生地穴を開けます。



⑨上蓋を裏返し、図の赤丸で囲んだ4ヶ所のネジを外し、プラスチックパーツを取り外します。



⑫上蓋にカバーをかぶせると、このようになります。  
取り外したすべてのパーツを元に戻し、2列目アームレストの完成です。

## 2列目背もたれ続き



- ⑩アームレストと背もたれを外した逆の手順で元に戻します。  
6ページの②で取り外したパネルにカバーをかぶせ、背もたれにはめ込みます。



- ⑪アームレスト下側の生地と、パネル下側の生地をマジックテープで固定します。

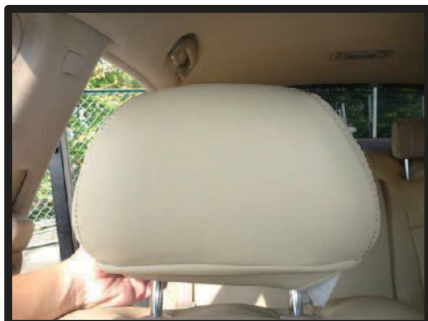


- ⑫カバーの表面を整え、2列目背もたれの完成です。  
座面は、この後に元に戻します。

## ヘッドレスト



- ①ヘッドレストカバーの前後を確認してからかぶせます。平らなプラスチック部品が付いている方が前です。カバーを側面に引っ掛けるようにかぶせます。



- ②ヘッドレスト本体に揉み込むようにカバーを入れ込み、ラインを整えます。



- ③ヘッドレストを背もたれから取り外し、底面でカバーを固定します。

## 完成図



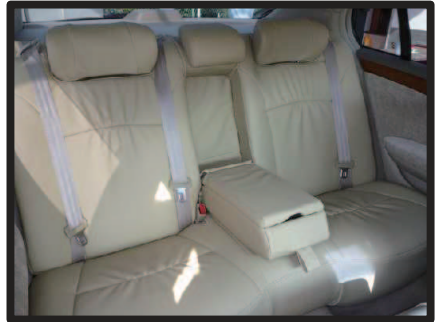
④平らなプラスチック部側を生地とともにフック部に入れ込みます。プラスチック部のみフックに入れ込んでもしっかり固定されませんのでご注意ください。(写真断面図)



1 列目



⑤カバーのラインを整え、1列目ヘッドレストの完成です。  
2列目も同様に取付けます。



2 列目



⑥2列目中央ヘッドレストは、カバーを前側に引っ掛けるようにかぶせた後に、②～⑤の手順で取付けます。



2 列目アームレスト

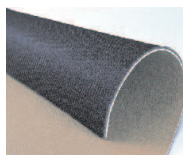


## After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

### ● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。  
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。  
(巾135cm・メートル単位での販売となります)  
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

**TEL 072-330-8000**

## …> 生地別メンテナンス方法

### ウルトラスエード

#### ●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

#### ●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



### 本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

#### ⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



### PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



### ファブリック

#### ●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

#### ●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかり水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となりますのでしっかりと乾燥させてください。

※テニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。

